

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		心身障害者福祉手当支給事業費〔心身障害者福祉手当支給事業（市制度）〕										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	8	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉課 庶務係					課長名	大法 努					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 3				
【施策名】 障害者福祉の推進							総合計画書(ページ)	55				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 20歳以上の身体障害者(3~4級)、知的障害者(4度)。65歳以上の新規認定はなし。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象となる障害者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 障害のため必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給することにより、障害者の生活を支援し、福祉の向上を図る。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 手当受給者数						
	③ そのために何をしましたか。 20歳以上の身体障害者(3~4級)、知的障害者(4度)の方に、心身障害者福祉手当(市制度：月額6,100円)を支給した。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 手当支給額						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	人	460	486	495						
	成果指標	②の数値	人	659.0	671.0	678.0						
	目標	②の目標値	人	670	680	690						
		目標値設定の考え方 対象者に適正に手当を支給する。										
	活動指標	③の数値	円	48,434,000	48,336,400	49,605,200						
3 経費	事業費(実績)		円	48,434,000	48,336,400	49,605,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	48,434,000	48,336,400	49,605,200						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000						
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	49,265,000	49,174,400	50,430,200							
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和49年度										
	(2) 環境の変化	開始当初と比較すると受給者数は増えているが、平成12年に介護保険制度が始まったことに伴い、65歳以上の新規認定は行わないこととした。近年受給者数は、微増で推移している。										

